

# 蚊やマダニからの 感染症にご注意を！

問 健康増進課（保健福祉センター内） ☎ 25 - 2100

## 蚊

蚊媒感染症とは、病原体を保有する蚊に刺されることよっておこる感染症のことです。主な蚊媒感染症には、「デング熱」、「ジカ熱」、「日本脳炎」などのウイルス疾患があります。

### ■なぜ対策が必要？

これらの感染症は主に、熱帯、亜熱帯地域で流行していますが、2014年日本においてもデング熱の感染症が報告されています。

デング熱や日本脳炎患者の一部はまれに重症化し、早期に適切な治療が行われなければ死に至ることがあります。またジカ熱については、妊娠中にジカウイルスに感染すると胎児に小頭症などの先天性障害をきたすことがあります。

日本脳炎は予防接種で罹患リスクを75%～95%減らすことができますと報告されていますが、デング熱とジカ熱には予防接種がありません。蚊に刺されないよう予防をすることが大切です。

### ■感染したときの症状

- ・デング熱：発疹、頭痛、骨関節痛、嘔気、嘔吐など
- ・ジカ熱：軽度の発熱、発疹、

- ・結膜炎、関節痛など
- ・日本脳炎：突然の高熱、頭痛、嘔吐、意識障害など



### ■予防方法

やぶなどの蚊がいそうな場所に行くときや、デング熱やジカ熱の流行地に渡航する際は、次の点に注意して、蚊に刺されないようにしましょう。

- ① 出かけるときは肌の露出が少なくない服装にする。
- ② 虫よけ剤(忌避剤)を使用する。
- ③ 定期的に幼虫が発生しそうな周辺の水たまりの除去・清掃をする
- ④ 下草を刈るなど、成虫が潜む場所をなくす。

## マダニ

マダニは、森林や草地など屋外に生息する比較的大型のダニで、家庭内に生息するダニとはまったく種類が異なります。ダニ媒感染症の原因となる病原体を保有していることがあり、人は、マダニにかまれることで病気に感染することがあります。

### ■マダニが媒介する主な感染症と症状

- ・ライム病：発熱、倦怠感、慢性遊走性紅斑など
  - ・回帰熱：39度以上の発熱、筋肉痛、関節痛など
  - ・ダニ媒脳炎：発熱、筋肉痛、麻痺、意識障害など
- ※これらは、インフルエンザのように人から人に感染して広がるものではなく、水や空気などを介して感染することもありません。

### ■予防方法

マダニに咬まれないようにすることが、もっとも重要です。草の茂ったマダニの生息する場所に入る場合には、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、防虫、手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出を少なくすることが大切です。虫よけ剤(忌避剤)の併用も、効果が期待できます。

### ■マダニに咬まれたときは

野外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認すること、マダニの咬着が認められた場合は、無理に引つ張つたりせずに、直ちに皮膚科などでマダニの頭部が残らないように除去してもらうことも重要です。マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、発熱などの症状が認められた場合は内科などで診察を受けてください。

